家具・インテリアのニュースと情報
web家具新聞
URL:http://www.kagu-news.com
E-mail:info@kagu-news.com

家具、器物、機材等の
"安全輸送用,あてふとん
"アテパッド"
●輸送からキズと破損の悩みを解消!!
製造発売元 株式会社 ウールテックス
〒442-0005 愛知県豊川市本野ヶ原3-7 ☎0533-89-2494

家具新聞
創刊57周年
2011年(平成23年) 11月5日(土曜日)第1593号

東家商&東家工 初のコラボ企画
『東京都家具商業組合 2012年 学習家具・書斎家具販売会』開催

東家商 宮田智行理事長

東京都家具商業組合（宮田智行理事長）は1940年に制定された物品税に、都内の家具小売業者が結束して反対しようと発足した組合である。創立当時は約300店舗が加盟し、隆盛を極めていたが、大型店の進出、後継者問題、慢性的な不況のために廃業、或いは不動産業への転業を余儀なくされ、今では加盟数59と全盛期の約5分の1にまで減少し、さらに、ネットの急速な普及やライフスタイル、住宅環境の変化などによって、まちの家具店離れが進行し、今では存亡の危機に晒されている小売業者も多い。

東家商では、こうした状況を打破すべく、まずは東京の東京都家具工業組合（山口千絵子理事長）との連携・交流を深め、組合企業の活性化を図れるような取り組みが出来ないかと、東家工の上層部と協議し、このほど、東家工加盟の小島工芸株式会社（本社・東京都江戸川区、小島勝利社長・東家工副理事長）の協力によって、「東京都家具商業組合 2012年 学習家具・書斎家具販売会」を開催することとなった。この販売会は、東家商主催としては初のショールーム販売会。メーカーに場所（ショールーム）と商品を提供してもらい、小売業者が集客を請け負って、双方の連携のもとに販売活動を行う営業スタイルは、10年ほど前から導入され、最近では定着化してきている。

小売店側のメリットとしては、自店では確保できない広いスペースで様々な商材を消費者に提案できる、仕入れ不要、在庫リスクを抱えずに済む、販促・販売にあたってメーカー側のサポートが受けられる、などの利点が挙げられるが、メーカー側としても、全商品を消費者に提示・提案出来る、商圏外の消費者を取りこぼすことなく効率よく商品がさばける、売れ筋が直に把握出来るなどの利点がある。さらに、今回の販売会もそうだが、チラシ、DMの提供、ネットでの情報配信など、メーカー側が販促活動の一部に協力する場合も多い。

2012年度学習家具
ラックや書棚などの周辺アイテムも充実

「販売活動に関しては、当社の営業ノウハウを駆使して全面的に協力するので、とにかくお客様を呼んできて欲しい。ショールーム販売は、当社でも5年ほど前から実施しており、約定率50%という実績もある。双方に利点が多いので、小売業者とメーカーの共存共栄のためには、いい取り組みなのでは。今回の販売会は、東家商との初のコラボ企画だが、今後も何らかの形で東家商との連携を深めていきたいし、協力は惜しまない」と小島工芸の小島社長（東家工副理事長）は語る。

一方、東家商の宮田理事長も今回の取り組みに絡め、「ここ30年のうちに、店舗数が激減したばかりでなく、店舗規模も縮小され、限られたスペース、商品、人員で売上増を図るのは、なかなか難しい状況になった。今回の企画は、一つの販売方法として、こんな売り方もあるという提案。これからも東家工と連携を深め、東家商加盟店舗の活性化が期待できるような企画を打ち立て、実施していきたい。そして、最終的には、東京だけでなく、全国の家具小売業者のネットワークが密になるような活動を推進していきたいと思う」と今後の抱負を語ってくれた。

広いショールームに全新商品を展示

販売会は来年1月7日（土）から9日（月）まで開催される。現時点で東家商から5店舗の参加が決定しているが、組合では、現在も参加企業を募集しており、学習家具商戦で大きな盛り上がりを見せる正月明けのハイシーズンに活発な商談が見込まれるところである。販売会の詳細は次の通り。

【東京都家具商業組合 2012年学習家具・書斎家具販売会】
■期間 平成24年1月7日（土）から9日（月）まで
■時間 10時～18時
■場所 小島工芸株式会社東京ショールーム（東京都江戸川区本一色3－13－3）
☎03－3652－3191

アンビエンテ 20
インテリア ライフ

メサゴ・メッセフランクフルト記者発表会にて 挨拶する梶原靖志

市『アンビエンテ』は、2012年2月10日(金)から14日（火）にドイツ・フランフルト国際見本市会場で開催される。

この見本市は、約33万平米の展示スペースに、テーブルウェア、キッチン用品、ハウスウェア、ギフトアイテム、家具などの消費財を展示するもので、「Dining」「Giving」「Living」の3つのセクションで構成された会場には、約4500社が出展、14万5000人の来場者を見込む。

また、同社は、2012年度6月に開催される『インテリアライフスタイル』を大幅にリニューアルすると同時に、見本市のコンセプトや企画を担う「Creative Direction」を発

『インテリア ライフスタイ
「Creative Direc
4人のメンバーで

り、欧米諸国はもちろん、アジアや中近東など世界各国からの業界関係者をまじえ、活発な商取引が期待されるところである。

さらに、ニコレット・ナウマン氏は、来年のアンビエンテにおいて、コントラクト・ビジネスにスポットを当てると発表、「コントラクト・ビジネスとは委託契約のことで、店舗・施設などの開設や運営向けに食器、グラス、カトラリー、照明、ハウスウェア、家具などの製品を供給するビジネス。世界中で

は次の通り。

【アンビエンテ2012】
■会期 2012年2月10日（金）～14日（火）
■会場 ドイツフランクフルト国際見本市会場
■出展者 約4500社
■来場者（見込み）14万5000人
■展示スペース（総床面積） 33万㎡
1.「Dining」エリア～テーブルウェア、キッチン用品、ハウスウェア
出展者数 約2200社
展示スペース 約19万

後は－Creative Direction」を軸に、最適なバランスで〝時代にあったライフスタイルを提案する見本市〟を展開していく。メンバーは次の4人。（50音順）
▽青木昭夫氏
クリエイティブディレクター、「MIRU DESIGN」代表。
▽小柴大樹氏
ライフスタイルプロデューサー。株式会社エス・アイ・エム・シー及び有限会社KO DESIGN CONCEPT代表取締役。
▽南村弾氏

株式会社
イド社は、
月末日開

ホルムアルデヒド・VOC
～室内空気環境対策～
御園染 ツルカメ印本舗 鏡掛・油單